平成30年度トンネル点検結果

路線名	落居割石線	鴨狩共和線	市川大門黒沢線	市川大門黒沢線
トンネル名	割石隧道	鴨狩隧道	高田隧道	高田歩道トンネル
坑口現況写真	起点側坑口終点側坑口	起点側坑口終点側坑口	起点側坑口 終点側坑口	起点側坑口終点側坑口
トンネル諸元	延長 114.2m 形式 素掘り+矢板工法 竣工年 1959 点検日 2018/10/11 中央高 4.9m 幅員 5.5m 設備 ナトリウム照明	延長 59.3m 形式 素掘り+吹付工法 竣工年 1925 点検日 2018/10/12 中央高 3.35m 幅員 3.0m 設備 蛍光灯照明	延長 22.5m 形式 PCホロー桁 竣工年 1975頃 点検日 2018/10/10 中央高 4.1m 幅員 7.9m 設備 照明なし	延長 22.6m 形式 ボックスカルバート 竣工年 1975頃 点検日 2018/10/10 中央高 2.7m 幅員 2.5m 設備 蛍光灯照明
	変状状況写真 変状概要 判定 全周 ひびわれ S008 (最大幅5.0mm) II	変状状況写真 変状概要 判定 保護ネット支柱 腐食 S004 III	変状状況写真 変状概要 判定 橋台ひびわれ (最大幅2.0mm) S002 I	変状状況写真 変状概要 判定
主な変状	側壁部 漏水 8005	至周504474 (最大幅25mm) S005	(0. 6×0. 1m) S002	類版の
	側壁部剥落 \$0006	背面空洞 高さ30cm S005	漏水 橋台左側壁 PE	鉄筋露出 側壁 L=200mm
	照明本体カバー破損電球なし 8010	落石の堆積 右アーチ S001	が門 剥落 (0.1×0.2m) PS	舗装ひびわれ (最大幅 1.5mm) S001
点検結果概要		しネットの腐食、支柱の腐食が進んでいること、また地山の 風化が進み、落石が多いことから対策が必要な段階に達して いると判断する。 ・また坑口のコンクリート覆工部にも背面空洞が認められ	が、橋台に一般的に見られるものであり、H25年点検から の進行性は見られない。 ・頂版のPC桁は健全な状態にある。	・中央にプレキャストBoxを用いた区間が15mあり、両坑口を場所打ちBoxで施工している。 ・プレキャスト区間の1/2(終点側)は鉄筋のかぶりに沿った ひびわれが前回より増えており、かぶりが少ないために内部 で鉄筋腐食が進行している可能性が高い。 ・場所打ち区間でもひびわれ、遊離石灰が見られるが、いず れも軽微なもので進行も認められない。
判定箇所数 総合評価	 Ⅲ:33	し、健全性Ⅲと診断した。	ひびわれの影響も考えられる。ただし進行性が見られず、	■:15 ■ III:0 ■ IV:0 ■ 計 15 ・プレキャスト区間の鉄筋かぶりが不足している個所では、一部鉄筋が露出しており、錆止めスプレーによる応急措置を行っている。鉄筋露出をIIa,鉄筋に沿うひびわれをIIbと診断しているが、今後内部鉄筋の腐食を拡大させないために、早い時期に計画的な対策が望まれる。